

学習状況診断票（数学） 中学校 第2学年
2年 組 番 氏名 _____

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		見方 えや 方	表現 処・ 理	知識 理・ 解	
数と式	①	1	1	同類項をまとめる計算をすることができる。				
		2	2	分配法則を使って、多項式に数をかける計算をすることができる。				
		3	3	単項式の除法の計算をすることができる。				
		4	4	単項式の乗除が混じった式の計算をすることができる。				
	②	1	5	連立方程式の解き方を考え、解くことができる。				
		2	6	問題の中の条件に着目して、連立方程式に表すことができる。				
	③		7	文字を使った式の意味を読み取ることができる。				
	④	1	8	整数の性質を見い出すことができる。				
		2	9	整数の性質を、文字を使って説明することができる。				
	図形	⑤	1	10	五角形の内角の和の求め方について理解している。			
2			11	n角形の内角の和の求め方について考えることができる。				
⑥			12	平行線の性質を使って角度を求めることができる。				
⑦			13	図形の基本的な性質を利用して、角の大きさの求め方を説明することができる。				
			14	図形の基本的な性質を利用して、角の大きさの求め方を説明することができる。				
			15	図形の基本的な性質を利用して、角の大きさの求め方を説明することができる。				
⑧			16	三角形の合同条件を理解している。				
数量関係		⑨	1	17	1次関数の変化の割合が一定であることを理解している。			
	2		18	1次関数のグラフを表すことができる。				
	3		19	1次関数の式の求め方を考え、求めることができる。				
	⑩	1	20	1次関数の式と傾き、切片の関連を理解している。				
		2	21	1次関数の特徴を理解している。				
		3	22	2元1次方程式の解を座標とする点の集まりが2元1次方程式のグラフであることを理解している。				
	⑪	1	23	具体的な事象において、グラフの表す意味を読み取ることができる。				
		2	24	グラフの傾きから速さを読み取ることができる。				
		3	25	2つのグラフの交点の意味を読み取ることができる。				
						/11	/8	/6

今後の学習に向けて ※自分が頑張りたいところに○を付けましょう。

	見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道立てて考えるには、まず、具体的な数をあてはめて、結果を予想することが大切です。その上で、その予想した結果がいつでもいえるかどうかを確かめるために、根拠を明らかにしながら順序よく考えるようにしましょう。 ・あることを明らかにするためには、根拠として使ってよいことと、何がいえれば明らかにしたいことがはっきりするのかを考えましょう。 ・1次関数の式を求めるには、まず、何がわかればよいのかを考えましょう。次に、それらが問題文や表からわからないかと考えていきましょう。 ・1次関数を利用した問題は、問題に表されたこととグラフに表されたことを関連させて考えましょう。
	表現・処理	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式や単項式の計算では、計算のきまりに従って計算するようにしましょう。 ・連立方程式を解くにはどうすればよいかを教科書を使って復習しましょう。 ・連立方程式をつくるには、数量の関係を、文字を使った式に表し、等しい数量の関係を見つけましょう。 ・様々な角の大きさを求めるには、図形の性質からいえることを使って考えましょう。 ・yがxの1次関数であることがわかっているときには、どんなことがいえるのかと考え、そのことを使って考えましょう。
	知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件や図形の性質などについては、正しく理解すると共に、対応順に捉えるようにしましょう。 ・1次関数 $y = ax + b$ をグラフに表したとき、aやbの値を変えるとグラフはどのようになるのかを確かめましょう。